



東京工業大学

平成24年度

入学者選抜要項



大岡山キャンパス附属図書館

【平成24年4月入学】

目 次

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～
アドミッションポリシー 創り拓く理系人たれ

I 募集人員 1

II 一般入試

II-1 出願資格	2
II-2 一般入試日程	3
II-3 前期日程	4
II-4 後期日程(第7類)	6

III 特別入試

III-1 推薦入試(第1類)	8
III-2 AO入試(第2類,第3類,第4類,第5類,第6類)	10
III-3 私費外国人留学生特別入試	13

IV その他

IV-1 障害等の事前相談について	14
IV-2 入試情報の提供について	14
IV-3 帰国子女特別入試の中止について	14

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～

□ 東工大は

東京工業大学 (Tokyo Institute of Technology) は 1881 年設置の東京職工学校、蔵前にあった東京高等工業学校を経て 1929 年に大学となり、本年 (2011 年) で創立 130 年を迎えました。本学は学部学生、大学院学生合わせて約 1 万人、教職員約 2 千人を有する、我が国最大の理工系大学です。常に時代の最先端を切り拓き、「頼りになる大学」の役割を果たしてきました。

新しい将来構想として「東工大ビジョン 2009」を策定し「知(ち)、技(わざ)、志(こころざし)、和(わ)の理工人」を育成することを基本方針として、世界的な視野に立って大学力を高め、社会に貢献しうる分野を重点的に強化するとともに新しい価値の創造に挑戦し、発展を目指します。

□ ものづくりから創造へ

東工大は創造性豊かな教育によって、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をはじめ、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。この実績をもとに、確かな基礎力を修得した「創造型人間」の育成を目指しています。“ものづくり教育研究支援センター”を土壌とし、実践の場で“ものづくり”に自主的・主体的に取組み、確かな基礎学力と深い専門性の修得を訓練する独自のプログラムもあります。サークルの一つであるマイスターが製作した人力飛行機もその一例です。時代の激しい変化に柔軟に対応する適応能力、人と人とを結びつける統合力をもつ人材の養成が東工大の大きな使命です。

□ 東工大で学べるもの

東工大には、学部 (理学、工学、生命理工学)、大学院研究科 (理工学(理学系、工学系)、生命理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学、イノベーションマネジメント) があり、理工学に関するあらゆる分野が学べます。また、統合研究院のもとに研究所 (資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学、像情報工学)、そして数多くの研究教育施設・センターにより、社会、産業界の要請に応じてきました。「理工へ行くなら東工大」、「学生を採用するならば東工大」です。2011 年には新図書館が開館し、より便利で快適な学習環境を提供します。

□ 世界のフロンティアをひらく研究

東工大は先端科学技術、融合領域、新規領域に意欲的に取り組んでいます。多様な分野で多彩な教授・准教授・講師・助教の教員群、研究員が国際的に活躍し、グローバル社会を先導する役割を果たしています。

文部科学省の 21 世紀 COE (Center of Excellence) は、東工大が誇る最も強い研究分野に設けられ、世界

の研究教育拠点を目指しました。12 の COE では、世界最高水準の研究のもとで、博士課程の大学院教育システム改革を、研究科を越えて行いました。

後継事業のグローバル COE には、2007 年度に 5 チーム、2008 年度に 3 チーム、2009 年度には 1 チームが採択され、合計 9 チームが活動しています。

2005 年に文部科学省スーパーCOE による“統合研究院”を設立しました。社会・産業が抱える重要課題解決を図るためです。2010 年より新しい統合研究院として、学内外の連携を強め組織的に取り組む東工大発の「ソリューション研究」も推進しています。

□ 特徴ある文系・芸術系教育

東工大では、理工系の専門教育だけでなく、特徴ある文系科目が充実しているのも伝統です。2006 年には「世界文明センター」を発足させ、文学、音楽、美術、映像などが学べる仕組みをつくりました。

□ 東工大の得意わざ

2010 年にはスーパーコンピュータ“TSUBAME”が“TSUBAME2.0”に進化しました。代表的なスパコン性能ランキングの 2 つのうち、Green500 (電力性能) で世界 2 位、TOP500 (絶対性能) でも世界 4 位を達成しました。

世界に開かれた若手研究者のための Global Edge Institute、産業界と連携して社会が要請する若手研究人材を養成するプロダクティブリーダー養成機構、国際的リーダーシップの育成を目指して中国・清華大と合同大学院を開設したのに加え、さまざまな国際連携、組織的・戦略的な産学連携などを実施しています。2011 年にはグローバル社会を牽引するトップリーダーを養成するグローバルリーダー教育院を設置しました。

東工大は世界大学ランキング (2010 年 QS) によると、総合では世界第 60 位、日本第 4 位にランクされています。

□ 活発なサークル活動

東工大は研究、教育だけでなく、仲間が力を合わせて高いレベルを目指すサークル活動も活発です。

2010 年の人力飛行機「鳥人間コンテスト」の 4 度目の優勝や混声合唱団の 13 年連続金賞など、その実績はすばらしいものがあります。これらサークル活動に対する国内外での高い評価は、全学教職員、学生を挙げてのなみなみならぬ努力の成果です。

東工大は研究・教育の特徴を最大限に活用し、社会と世界の期待に応えます。

どうぞ、東工大にご注目ください

創(つくり)拓(ひら)く理系人(りけいびと)たれ

—入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凜とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるもののすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをもっています。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がり可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組みながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさがっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 「理系」であることに「自信」を持っていること。
2. 「理系」であることに「誇り」を持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを応用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかりと自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すくすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであると同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を一。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

入学者に求める資質と能力

科学・技術への知的好奇心と探究心を有し、
基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます

東京工業大学は、学士、修士、博士、及び専門職学位の取得を目指す各課程の教育目標に基づいて、充実した基礎教育、教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育、「ものづくり」を基本とする実学教育、創造性を育む実習教育、最先端の研究を核として高度な技術者・研究者を養成する専門教育、国際連携を活用した教育など、世界に冠たる理工系総合大学に相応しい教育を行います。

そこで、本学の各課程では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

学部（学士課程）

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している。
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる。
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している。
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している。

I 募集人員

学部	類	類募集人員	募 集 人 員				所属可能な学科及びその人員		
			一般入試		特別入試				
			前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試			
理学部	第1類	185	175	—	10	—	数学	25	
							物理学	54	
							化学	37	
							情報科学	34	
							地球惑星科学	35	
工学部	第2類	85	75	—	—	10	金属工学	33	
							有機材料工学	20	
							無機材料工学	30	
							社会工学	2	
	第3類	108	98	—	—	10	化学工学	65	
							高分子工学	30	
							経営システム工学	11	
							社会工学	2	
	第4類	201	181	—	—	20	機械科学	47	
							機械知能システム学	40	
							機械宇宙学	40	
							制御システム工学	25	
							経営システム工学	25	
							国際開発工学	20	
							社会工学	4	
	第5類	201	181	—	—	20	電気電子工学	77	
							情報工学	102	
							制御システム工学	18	
							社会工学	4	
	第6類	95	80	—	—	15	土木・環境工学	29	
							建築学	45	
							社会工学	21	
	生命理工学部	第7類	153 (150)	133	20	—	—	生命科学	75
								生命工学	75
社会工学								3	
計		1,028	923	20	10	75			

※ 生命理工学部の入学定員は150名ですが、第7類は工学部社会工学科分3名を含め、153名の募集となります。「所属可能な学科及びその人員」欄は、2年次に所属可能な学科とその人数を示します。

経営システム工学科へは第3類および第4類から、制御システム工学科へは第4類と第5類から所属できます。社会工学科へは、第2類～第6類（工学部）および第7類（生命理工学部）の各類から合計36名が所属できます。

※ 平成24年度（平成24年4月入学）帰国子女特別入試は中止します。

Ⅱ 一般入試

Ⅱ－1 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）の教科・科目のうち、本学が指定した受験を要する教科・科目をすべて受験した者が出願できます。

なお、本学における大学入試センター試験の成績の利用については、平成24年度大学入試センター試験の成績のみを利用し、1年前のもの（平成23年度大学入試センター試験の成績）は利用しないので注意してください。

- 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程(又は相当する課程)を有するものとして認定(又は指定)した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの

[注] 上記(6)で出願しようとする者は、出願前の下記の期間に出願資格審査を行うため入試課に連絡の上(電話 03-5734-3990)、必要書類をそろえて申請してください。

申請書類は、入試課ホームページ(巻末参照)にも掲載しています。

【申請期間】・大学入試センター試験対象

平成23年8月22日(月)～8月31日(水)17時まで

・AO入試対象

平成23年11月14日(月)～11月22日(火)17時まで

・前期日程・後期日程対象

平成24年1月10日(火)～1月18日(水)17時まで

・大学入試センター試験追試験受験者のみ対象

平成24年1月23日(月)17時まで

※大学入試センター試験追試験許可書を提示すること。

※出願に際しての注意

平成24年度国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の入学試験は、「分離分割方式」により実施されます。

志願者は、分離分割方式の「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められませんので注意してください。

この際、「前期日程」の試験に合格し、3月15日までに入学手続きを行った者は、「後期日程」に出願し、受験しても合格者とはなりませんので注意してください。

Ⅱ－2 一般入試日程

◎ 前期日程

	試験日程
出願期間	平成24年 1月23日(月)～2月 1日(水)
個別学力検査	平成24年 2月25日(土), 26日(日)
合格者発表日	平成24年 3月 9日(金)
入学手続日	平成24年 3月14日(水), 15日(木)

◎ 後期日程 (第7類)

	試験日程
出願期間	平成24年 1月23日(月)～2月 1日(水)
第1段階選抜合格者発表日	平成24年 2月 8日(水)
第2段階選抜実施日	平成24年 3月12日(月)
合格者発表日	平成24年 3月23日(金)
入学手続日	平成24年 3月27日(火)

Ⅱ－3 前期日程

入学者の選抜は、学力検査（大学入試センター試験と本学が実施する個別学力試験）および調査書によって行います。

出願資格を満たす志願者は全員、個別学力試験を受験することができます。

1. 大学入試センター試験の取扱い

(1) 受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する5教科7科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」，「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理科	「物理Ⅰ」，「地学Ⅰ」，「化学Ⅰ」，「生物Ⅰ」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。なお、2科目を受験する場合の取扱は今後変更することがあります。9月頃ホームページに掲載する予定です。

(2) 基準点の設定

本学が指定する大学入試センター試験5教科7科目の成績（得点合計）に以下のとおり「基準点」を設けます。

ア 基準点600点

- ・外国語科目として英語を選択した場合（英語リスニングを含む）

イ 基準点570点

- ・外国語科目として英語を選択した場合（英語リスニング免除者）
- ・外国語科目として英語以外の科目を選択した場合

教科・科目	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計	基準点
配点	200	100	200	200	250	950	ア 600
					200	900	イ 570

2. 個別学力検査

ア 試験日等

試験日	第1日目		第2日目	
科目	数 学 9:30～12:30 (180分)	英 語 14:00～15:30 (90分)	物 理 10:00～12:00 (120分)	化 学 13:30～15:30 (120分)

イ 試験内容

科目	出題範囲	必須・選択の別
数 学	「数学Ⅰ」, 「数学A」, 「数学Ⅱ」, 「数学B (数列, ベクトル)」, 「数学Ⅲ」, 「数学C (行列とその応用, 式と曲線)」を, その総合問題や応用問題も含めて, 『数学』として出題する。	必 須
物 理	「物理Ⅰ」の全範囲, および「物理Ⅱ」のうち, (1)「力と運動」, (2)「電気と磁気」, (5)「課題研究」, と(3)「物質と原子」の一部 (ア「原子, 分子の運動」) とを合わせて『物理』として出題する。	必 須
化 学	「化学Ⅰ」, 「化学Ⅱ」を合わせて『化学』として出題する。ただし, 「化学Ⅱ」の(2)「生活と物質」および(3)「生命と物質」からは, 選択問題等を用いて, これら項目の1つを学習しなかった受験生が不利にならないように配慮する。	必 須
英 語	「リーディング」, 「ライティング」を合わせて『英語』として出題する。	必 須

ウ 試験場

個別学力検査は, 本学大岡山キャンパス及び東京工業大学附属科学技術高等学校 (予定) で行います。

エ 個別学力検査の配点

科目	数 学	物 理	化 学	英 語	合 計
配 点	3 0 0	1 5 0	1 5 0	1 5 0	7 5 0

3. 合格判定

大学入試センター試験の成績 (得点) が「基準点」以上の点数の者の中から, 個別学力検査の成績および調査書の内容を総合して合格者を決定します。

ただし特例として, 個別学力検査の成績が極めて優秀な者は「基準点」に満たない場合であっても合格とすることがあります。

Ⅱ－４ 後期日程（第7類）

入学者の選抜は、学力検査（大学入試センター試験と本学が実施する個別学力試験）および調査書によって行います。

1. 求める学生像

生命現象を徹底的に探求したいという旺盛な知識欲を持つ者、また、そこから得られた知識を応用して新しい創造的世界を開拓したいという高い希望を持つ者など、チャレンジングな理系精神を持って生命理工学を学びたい者を強く求めます。

2. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」，「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理科	「物理Ⅰ」，「地学Ⅰ」，「化学Ⅰ」，「生物Ⅰ」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。なお、2科目を受験する場合の取扱は今後変更することがあります。9月頃ホームページに掲載する予定です。

3. 2段階選抜

(1) 第1段階選抜

志願者数が後期日程（第7類）の募集人員の約10倍を超えた場合には、本学が指定する大学入試センター試験5教科7科目の成績（得点合計）により第1段階選抜を行うことがあります。

・第1段階選抜合格者発表日 平成24年 2月 8日（水）

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して、調査書および大学入試センター試験と個別学力試験（総合問題）によって行います。

第2段階選抜で利用する大学入試センター試験は以下の3教科5科目とします。

ア 第2段階選抜大学入試センター試験の教科・科目

教科	科目
数 学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理 科	「物理Ⅰ」, 「地学Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」から2科目
外 国 語	「英語(リスニングを含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目

注. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

イ 試験日等

試験日	平成24年3月12日（月）
科目等	総合問題 9:30～12:30（180分）

ウ 試験内容

高等学校までに学ぶ理科系科目（主に化学Ⅰ, Ⅱ, 生物Ⅰ, Ⅱ, 物理Ⅰ, Ⅱ）及び英語を組み合わせた総合問題を2問ないし3問を課す筆答試験を行います。

設問は、上記科目の内容を組み合わせた総合問題で、論理性、記述性及び考える力を問う問題が中心となります。また、数学的な解法を利用する設問が含まれる場合もあります。

エ 試験場

個別学力検査（総合問題）は、本学大岡山キャンパスで行います。

オ 第2段階選抜の配点

教科・科目 試験区分	国 語	地理歴史 ・ 公 民	数 学	理 科	外国語	総合 問題	合 計
大学入試 センター試験	—	—	120	120	60	—	300
個別学力検査	—	—	—	—	—	300	300

注. 大学入試センター試験の配点は上記点数に圧縮します。

(3) 合格判定

上記オ「第2段階選抜の配点」による得点および調査書の内容を総合して合格者を決定します。

Ⅲ 特別入試

Ⅲ－1 推薦入試（第1類）

個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、出願書類および調査書を総合的に評価して合格者を決定します。

1. 求める学生像

幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

- ① 自然界の仕組みについて深く知りたいという夢を持っている人。
- ② 教わるだけでなく、自ら学び友人と対話することを好む人。
- ③ 十分な学力と表現力を持つ人。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校または中等教育学校を平成24年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を平成24年3月修了見込みの者

3. 試験日程（案）

	試験日程
出願期間	平成23年12月14日（水）～12月16日（金）
合格者発表日	平成24年 2月 8日（水）
入学手続日	平成24年 2月15日（水）

4. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」 から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」，「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理科	「物理Ⅰ」，「地学Ⅰ」，「化学Ⅰ」，「生物Ⅰ」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」 から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。なお、2科目を受験する場合の取扱は今後変更することがあります。9月頃ホームページに掲載する予定です。

5. 推薦要件等

(1) 推薦人員

学校長が推薦できる人数は2名までとします。

ただし、下記の推薦要件 ③ については人数の制限はありません。

(2) 推薦要件

理系における高い能力を示す下記の ① ② ③ のいずれかに該当し、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

- ① 正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理系およびそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者
- ② 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要）、それをとりまとめて校外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者
- ③ 数学、物理、化学、地学、情報のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者

6. 提出書類等

上記の推薦要件 ① および ② における「優れた成果」とは、学校内で現在および過去の生徒との比較において特に優れていると学校長が認定できるものを指す。

推薦要件における推薦書記載事項は下記を参照ください。

(1) 推薦書への記載事項

ア 推薦要件 ① について

- ・ 課題研究を行った科目名（総合的な学習等の一部として行った場合も含む）
- ・ 課題研究の内容の要約
- ・ 当該課題研究が特に優れていると判断される理由

イ 推薦要件 ② について

- ・ 課外活動の形態
 - 例 1. ●●部のクラブ活動で2年間継続して研究を実施。
 - 例 2. 夏休みに10日間継続して△△で野外調査を実施。
 - 例 3. □□年度の東工大スーパーコンピュータコンテストに参加し入賞。
- ・ 研究内容の要約
- ・ 当該研究が特に優れていると判断される理由

ウ 推薦要件 ③ について

出場した国際科学オリンピック名・開催日・開催場所、学習意欲と能力についての所見

(2) 願書提出

出願書類の提出については、当該学校長からの提出となります。

Ⅲ-2 AO入試（第2類, 第3類, 第4類, 第5類, 第6類）

入学者の選抜は、学力検査（大学入試センター試験と本学が実施する個別学力試験）、志望理由書および調査書によって行います。

1. 求める学生像

人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を有し、理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけAO入試では、枠にとらわれない柔軟な発想力と、その発想を他者と共有するための表現力の2点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 試験日程

	試験日程
出願期間	平成23年12月14日（水）～12月16日（金）
第1段階選抜合格者発表日	平成24年 2月 1日（水）
第2段階選抜実施日	平成24年 2月 5日（日）
合格者発表日	平成24年 2月 8日（水）
入学手続日	平成24年 2月15日（水）

4. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」，「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理科	「物理Ⅰ」，「地学Ⅰ」，「化学Ⅰ」，「生物Ⅰ」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、高得点の科目を用いることとします。なお、2科目を受験する場合の取扱は今後変更することがあります。9月頃ホームページに掲載する予定です。

5. 出願に際しての注意

合格した場合には必ず入学することを確約できること

6. 提出書類等

志望理由書(志望理由を800字以内で記述)

7. 2段階選抜

(1) 第1段階選抜

志願者数が類ごとの募集人員の約2～3倍を超えた場合には、本学が指定する大学入試センター試験5教科7科目の成績(得点合計)により第1段階選抜を行うことがあります。

・第1段階選抜合格者発表日 平成24年 2月 1日(水)

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して、個別学力試験(総合問題)、志望理由書および調査書によって行います。

ア 試験日等

◎総合問題

類	総合問題		試験内容等	配点
第2類	筆記	面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～16:00	100点
第3類	筆記	面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～17:00	100点
第4類	筆記	面接	9:30～11:30 (120分) 13:00～16:30	100点
第5類	筆記	面接	9:30～12:00 (150分) 13:30～16:00	100点
第6類	A	筆記 面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～18:00	100点
	B	造形課題	9:30～11:30 (120分)	100点
	C	面接	9:30～12:30	100点

イ 試験内容

	総合問題	内 容	
第2類	筆記	基礎学力と応用力を問う材料に関する設問。	
	面接	自然科学に対する考え方等について試問し、材料学を学ぶ上で必要な適性を判定・評価する。	
第3類	筆記	科学全般を範囲とし、化学を中心とする知識および考え方から出題する。特に論理的な思考力と文章力(記述力)を評価する。	
	面接	科学的な知識および考え方について問う。また、社会と化学の関係についての考察力・思考力と口頭発表による表現力を評価する。	
第4類	筆記	与えられた課題に対して、多角的な視点から考察し、それを論理的かつ明解に記述する能力を問う、数学Ⅲや物理Ⅱの知識を必要とする場合がある。	
	面接	理数分野を主としたテーマに対して論理的かつ明解に説明する能力を問う。	
第5類	筆記	与えられた技術テーマについて自らの発想に基づく解決法、提案等を考察し、それを論理的に説明する。	
	面接	電気情報系に対する志望動機および学習意欲を評価する。	
第6類	A	筆記 面接	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して、問題の所在を整理し解決策を提示できる能力並びに表現の能力を試す。
	B	造形課題	建築に関する思考に必要となる3次元の空間把握・表現についての能力を評価する。
	C	面接	経済学や都市計画の方法論を学んで社会の問題解決に貢献しようという素養と意欲を評価する。

※第6類では、総合問題Aを受験し合格した者の中から最大5名は土木・環境工学科に、総合問題Bを受験し合格した者の中から最大7名は建築学科に、総合問題Cを受験し合格したものの中から最大3名は社会工学科に、それぞれ2年次の学科所属の際に優先的に所属することができます。

ウ 試験場

個別学力検査は、本学大岡山キャンパスで行います。

Ⅲ-3 私費外国人留学生特別入試

実施学部・学科名	下記のとおり
募集人員	下記のとおり
出願資格	<p>次の(1)、(2)及び(3)の全てを満たしている者 (1)日本国籍を有しない者</p> <p>(2)出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 外国において、学校教育(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く)における12年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの^(注1) ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(3)独立行政法人日本学生支援機構主催、平成23年度日本留学試験の日本語(聴解、聴読解、読解、記述)及び基礎学力理系(物理、化学、数学コース2:日本語又は英語での受験可)を受験し、日本語の成績が260点以上、基礎学力理系の成績が280点以上であること(成績結果は、6月又は11月のいずれか一方しか利用できない。)</p> <p>(注1)「文部科学大臣の指定したもの」とは、 ○ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずる者を含む)に合格した者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの ○ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者を含む)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程等において当該課程を修了し、平成24年3月31日までに18歳に達するもの (注2)日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者(卒業見込みの者を含む)及び日本国永住許可を得ている者は、本入試に出願することはできない</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績並びに本学が行う学力検査及び面接の成績を総合して行う。第1次選考を学力検査(数学、物理、化学、英語、日本語)により行う。第1次選考合格者に対し第2次選考の面接試験を行い、最終合格者を決定する。
出願期間	平成23年12月22日(木)～12月27日(火)
選抜期日	第1次選考(学力検査) 平成24年 1月18日(水)
	第2次選考(面接) 平成24年 2月17日(金)
合格者発表日	平成24年 3月 9日(金)

実施学部・学科名、募集人員

学 部	学 科 名	募集人員
理学部	数学	若干人
	物理学	
	化学	
	情報科学	
	地球惑星科学	
工学部	国際開発工学	20人
	金属工学	各学科 若干人 合わせて 20人
	有機材料工学	
	無機材料工学	
	化学工学	
	高分子工学	
	経営システム工学	
	機械科学	
	機械知能システム学	
	機械宇宙学	
	制御システム工学	
	電気電子工学	
	情報工学	
	土木・環境工学	
	建築学	
社会工学		
生命理工学部	生命科学	若干人
	生命工学	

IV その他

IV-1 障害等の事前相談について

受験又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ入試課へ相談してください。

特に、受験する際に特別措置が必要な者は、内容によっては対応に時間を要することもあるので、**出願前のできるだけ早い時期**に相談してください。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も同様です。

点字又は代筆による解答を希望する者は、平成23年12月9日（金）までに申し出てください。申し出がなかった場合、特別措置による受験ができなくなることもありますので、十分に注意してください。

IV-2 入試情報の提供について

本選抜試験に係る統計データは、平成24年4月以降にホームページ等により公表します。

IV-3 帰国子女特別入試の中止について

本学帰国子女特別入試につきまして、平成24年度（平成24年4月入試）は実施しません。

【1】平成24年度募集要項等の請求方法

(1) 大学のホームページから請求する場合


大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

(2) テレメールで請求する場合（インターネット・電話）

① インターネット（携帯電話・パソコン）または電話をご利用ください。



テレメール

インターネット（携帯電話・パソコン）の場合	電話の場合
http://telemail.jp ※携帯電話（iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ）、パソコンとも共通アドレスです。	I P 電話 050 (8601) 0101
QRコード ※対応する携帯電話で読み取れます。 	※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

② 次の資料番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	送料	郵送開始日
大学案内	5 6 2 5 7 2	2 4 0 円	7 月 下 旬
学部募集要項 (前・後期日程の願書含む)	5 8 2 5 5 2	3 9 0 円	1 2 月 上 旬
AO入試募集要項 (工学部：第2類～第6類)	5 8 6 2 6 2	1 4 0 円	1 0 月 中 旬

※送料は、昨年度資料を基に算出しているため、変更する場合があります。

※上記以外の募集要項等に関しては、【2】学務部入試課まで問い合わせてください。

③ その後は流れてくる音声ガイダンスに従って登録してください。

※電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時には、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

※一度ご利用になられた暗証番号(4桁)は必ず控えておいてください。送料をお支払いいただく際に必要になります。また、テレメールを繰り返しご利用いただく時にも便利です。

※送料は、資料到着後、同封されている支払い方法に従いお支払いください。

※受付から2, 3日で郵送されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。

(3) 郵便局から請求する場合（10月より案内開始）

郵便局（普通局、特定局）に設置されている「全国国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項（願書）請求申込書」（入学願書ゆうパックカタログ）に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申込んでください。受付から1週間程度で送付されます。なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

※（1），（2），（3）の請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター（9:30～18:00） 電話 050（8601）0102

【2】入学者選抜等に関する問合せ先

（注）照会は、志願者本人が行うこと。

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

電話 03（5734）3990（平日 9:00～17:15（12:15～13:15除く））

※最新情報（大学ホームページ） <http://www.titech.ac.jp/>

※オープンキャンパス（大岡山キャンパス）10月22日（土）・23日（日）予約不要
（詳細は、8月中旬大学HPに掲載）